

Q&A

Q. 鉢植えにはどのような土が入っているのですか？

A. 中間貯蔵施設に搬入された除去土壌について、異物の除去を行い、放射能濃度の確認したものを鉢植えに使用し、その周りを土で覆っています。鉢植えに使用した除去土壌の放射能濃度は約 5,100Bq/kg です。

Q. 鉢植えはどのように環境省まで運んだのですか？

A. 環境省が放射性物質汚染対処特措法の基準に従い、環境省の車両で運搬を行いました。その際、車両への「除去土壌運搬車両」の掲示、車両周辺の放射線量の確認、飛散・流出を防ぐための梱包等を行っています。

Q. 鉢植えの管理はどのように行っているのですか？

A. 鉢植えの管理については、放射性物質汚染対処特措法の基準に従い、環境省が定期的なモニタリング（周囲の空間線量率の測定）等を行っています。モニタリングの情報は以下の環境省ホームページ内に掲載しており、随時更新します。

http://josen.env.go.jp/chukanchozou/facility/recycling/#monitoring_moe

Q. 鉢植えの設置前後で空間線量率に変化はあったのですか？

A. 鉢植えの設置前後で測定した空間線量率の平均値に変化はありませんでした。

Q. 測定された空間線量率は $0.06 \mu\text{Sv/h}$ 前後のようですが、この値は問題ないのですか？

A. 空間線量率は、地域や場所によって異なります。

天然の放射性物質により、コンクリートの建物は屋外に比べて空間線量率が高くなる傾向があります。環境省の建物はコンクリート造のため、東京の屋外における平均的な空間線量率 ($0.037 \mu\text{Sv/h}$) より、少し高い数字になっていますが、地域や場所による変動の範囲内です。

このように、屋外と屋内でも空間線量率は異なりますが、参考として、世界の主要都市の屋外の空間線量率について、ニューヨークでは $0.046 \mu\text{Sv/h}$ 、ロンドンでは $0.108 \mu\text{Sv/h}$ 、パリでは $0.043 \mu\text{Sv/h}$ 、北京では $0.070 \mu\text{Sv/h}$ 、ソウルでは $0.117 \mu\text{Sv/h}$ というデータがあります（「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料」<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/h30kisoshiryo/h30kiso-02-05-07.html>）。

Q. 測定された空間線量率に変動があるのはなぜですか？

A. ある場所の放射線量は、測定のタイミングによってばらつきがあり、常に一定ではないためです。